



道徳だより

令和3年12月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～



「言われて「うれしい」言葉」「生まれてきた自分を大切に」「すてきな「笑顔」

本校では、12月4日～12月10日の人権週間に、自分の似顔絵（笑顔）・生まれた月日・人に言われてうれしい言葉を作成しました。生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。また、それぞれの個性を尊重すると共に、友情や信頼関係の醸成、相互理解、自己有用感の向上に繋がっています。以下に、全校児童の「誕生月ごとの似顔絵」を紹介します。



生命の尊さについて

低学年	生きることのすばらしさを知り、生命を大切に	<p>「生きているから」</p> <p>「いのち」「生きている」といったことに対して、実感をもって自覚できるようにすること。</p> <p><例>元気に遊んだり勉強したりできることや、ご飯をおいしく食べられること、体には温もりがあることなどは、生きているからこそ、できることや感じられることです。</p>
中学年	生命の尊さを知り、生命あるものを大切に	<p>「生きているから」 + 「一つしかない命、支えられている命」</p> <p>生命の大切さについて考え始める段階です。特に、生命の有限性や連続性は、子供たちにとって分かりやすいものです。</p> <p><例>死について理解できるようになる段階から、一つしかない命、多くの人に支えられている命、祖父母、父母、自分と受け継がれてきた命といった視点で、生命の大切さについて考えられます。</p>
高学年	生命が多くの人々のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する	<p>「一つしかない命、支えられている命」 + 「つながりの中にある重さ」</p> <p>たった一つの生命であっても、それは決して小さな存在ではなく、多くの人々や生命のあるものとの支え合いやつながりの中で存在する、とてつもなく大きくて重くて、かけがえのないものであることです。</p> <p><例>自覚することが、生命に対する畏敬の念となり、人間の力をはるかに超えた、生命の重さや尊さを自覚することになります。自分が精一杯生きることが、その生命を大切にすることになります。</p>